※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　日本史探究　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究は日本の歴史に関わる事柄について、地理や世界の歴史と関連付けながら理解し、現代の日本の課題を探究する科目です。この授業では主として原始・古代の日本から江戸時代後期の日本までを取り扱います。日本史探究で大切なことは、歴史総合で身に付けた資質・能力を基に、過去と現在を比較したり、つながりや影響を考えたりすることです。これらを踏まえて学習し、現代日本や世界とのつながりや課題、そして未来について考えていきましょう。

評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

2　学習の到達目標

①日本の歴史の展開に関わる諸事象について地理や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、活用できる。
②日本の歴史の展開に関わる諸事象について相互の関連や現代とのつながりなどを考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を身につける。
③日本の歴史の展開に関わる諸事象について主体的に課題を追究し、解決しようとする態度を養い、日本や他国の歴史と文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本の歴史の展開について、世界の歴史と関連付けながら総合的に考察し、各時代の特色や変遷など様々な側面から日本の歴史を大きく捉えて理解している。 ・日本の歴史の展開について写真や地図、文献や絵図、遺物や遺構、統計などの諸資料から有用な情報を適切に読み取り、様々な角度から捉え、効果的に活用している。	・日本の歴史の展開について、歴史に関わるできごとの相互の関連性や現在とのつながりなどに着目し、概念など活用して実証的、多面的、多角的、批判的に考察し、自らの考えを適切に説明、表現している。	・日本の歴史を学ぶ意義に気づき、関心を高め、文化を尊重し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始・古代の日本と東アジア	・日本文化の黎明 ・ヤマト政権と律令国家の形成 ・律令国家の変容	a:黎明期の日本や国家の形成、律令体制の成立、貴族の政治の展開など、当時の特色ついて理解している。 b:黎明期の日本列島の変化、中国王朝・朝鮮半島との関係、古代国家・社会の変容について多面的・多角的の考察し、表現している。 C:原始・古代の特色について諸資料を活用し、課題を追究したり、解決したりしようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	中世の日本と世界	・中世への転換 ・鎌倉幕府の展開 ・室町幕府の展開	a:貴族政治の変容、武士の政治進出、武家政権の成立と展開や変容などを基に、その特色を理解している。 b:権力の主体の変化、東アジアやユーラシアとの関わり、社会や経済の変化とその影響について考察し、歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:資料を通して読み取れる情報から中世の特色について考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組んでいる。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	近世の日本と世界	・近世への転換 ・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開 ・社会の変化と幕府の対応	a:織豊政権の政治・経済政策、法や制度による支配秩序の形成と身分制、幕藩体制の確立技術の向上と開発の進展や産業の発達，学問・文化の発展、幕府政治の動揺と諸藩の動向などについてその特色を理解している。 b:近世への転換、近世の国家	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

			社会への展開、幕府・諸藩の政策の変化などの時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近世社会の形成と変容について、自ら見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題を解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度